

「気になる」の意味分析

A Semantic Analysis of *Kininaru*

加藤 恵梨

要旨

慣用表現「気になる」の意味を分析し、「気になる」が有する複数の意味とそれらの意味の関連性について明らかにした。具体的には、「気になる」に三つの多義的別義を認め、別義1を〈ある刺激が普通と異なるため〉〈不快に感じる〉、別義2を〈良くないことが起こりそうで〉〈そのことから気持ちが離れない〉、別義3を〈ある対象に関心をいだき〉〈そのことから気持ちが離れない〉と記述した。また、これらの記述を基に、「気になる」の類義語である「心配になる」との意味の類似点と相違点について考察した。考察の結果、「気になる」の別義2と「心配になる」は意味が類似しているが、「気になる」の別義2は良くないことが起こりそうで、話し手の気持ちから離れない物事に対して用いるが、「心配になる」は発言時に話し手にとっての大きな問題に対して用いるという違いがあるということ述べた。

キーワード

「気になる」、「心配になる」、多義語、類義語、比喻

1. はじめに

本稿は、慣用表現「気になる」の意味を分析し、「気になる」が有する複数の意味とそれらの意味の関連性について明らかにすることを目的とする。また、「気になる」の類義語である「心配になる」との意味の類似点と相違点についても考察する。

本稿の構成について簡単に述べると、次の2節で分析の理論的背景となる「メタファー」及び「シネクドキー」という比喻について概観する。3節では「気になる」についての先行研究の記述を検討し、「気になる」の意味を分析する。続いて4節では3節の分析結果を基に、「気になる」と「心配になる」の類似点・相違点について考察する。最後に5節で本稿の分析のまとめと今後の課題を述べる。

2. メタファー（隠喩）、シネクドキー（提喩）

3節で、「気になる」が有する複数の意味の関連性を「メタファー（隠喩）」及び「シネクドキー（提喩）」という比喻によって説明する。本節では分析の理論的背景となる「メタファー（隠喩）」及び「シネクドキー（提喩）」について先行研究の記述を概観する。

2.1. メタファー（隠喩）

靱山（2010: 35）はメタファー（隠喩）を次のように定義している。

2つの事物・概念の何らかの「類似性（similarity）」に基づいて、本来は一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喻

メタファーの具体例として、形などの外見の類似性に基づくものと、より抽象的な類似性に基づくものがある。形などの外見の類似性に基づき生じたメタファーには、「猫背」「鳩胸」「目玉焼き」などがある。一方、より抽象的な類似性に基づくメタファーには、「肩の故障で、今シーズンを棒に振ってしまった」という表現がある。本来〈機械などが正常に機能しなくなること〉を表す「故障」が「人間」に関して使われる場合、「故障」は〈スポーツ選手などの体（の一部）が正常に機能しなくなること〉を意味する。この新しい意味は、〈正常な機能が果たせなくなること〉という本来の意味との共通点に基づくメタファーである（靱山 2010: 36）。

2.2. シネクドキー（提喩）

次に「シネクドキー（提喩）」について見ると、靱山（2009: 28）は、シネクドキーを次のように定義している。

本来はより一般的な意味を持つ形式を用いて、より特殊な意味を表す、あるいは逆に、本来はより特殊な意味を持つ形式を用いて、より一般的な意味を表すという比喻

シネクドキーには、次の(1)のような「広い意味から狭い意味に」、あるいは次の(2)のような「狭い意味から広い意味に」という二つの方向がある（靱山 2009: 28-29）。

(1) 花見に行く。(靱山 2009: 28)

(2) 人はパンのみにて生きるにあらず。(靱山 2009: 29)

「花」という語は、本来は〈花一般〉、つまり〈植物が咲かせる(美しい)もの〉といった意味を表すが、(1)では花の一種である〈サクラ〉を表している。また(2)の「パン」は、もとの意味よりも広く〈食べ物一般〉、さらには〈(精神的なものに対する)物質的な存在一般〉を表している。

次節では「メタファー(隠喩)」及び「シネクドキー(提喩)」を用いて、「気になる」の意味を記述する。

3. 「気になる」について

以下では、「気になる」についての先行研究の記述を検討し、「気になる」の意味を分析する¹。

3.1. 先行研究の記述とその検討

『新明解国語辞典(第七版)』、宮地(編)(1982)、『講談社類語辞典』を取り上げ、先行研究で「気になる」の意味がどのように記述されているのかを概観し、それらの記述を検討する。

3.1.1. 『新明解国語辞典(第七版)』の記述について

『新明解国語辞典(第七版)』で「気になる」をひくと、次のように記述している。

気になる

どうなるかという先行きの不安が、その人の脳裏を支配する。(p. 327)

『新明解国語辞典(第七版)』では、「先行きの不安」によって「気になる」という感情が生じると記述している。しかし、次の(3)のように「先行きの不安」以外の要因によって「気になる」という感情が生じているものも見られる。

(3) 女性に質問です。多少、大雑把な質問ですが、それを踏まえての回答をお願いします。特に恋愛対象と見てなかった男性から好きだと言われたら、それがきっかけでその男性が気になるって事がありますか?ちなみに自分は気にもしてなかった女性でも、好意を示されたらやはり気になるし、こちら好意を抱くようになります。

(0C09_12645 Yahoo!知恵袋)

(3)は好意を示された女性が「気になる」とあり、さらに「こちら好意を抱くようになります」とある。このことから、「気になる」は「先行きの不安が、その人の脳裏を支配する」以外の意味も有する多義語であると考えられる。

3.1.2. 宮地(編)(1982)の記述について

宮地(編)(1982)²は、「気になる」の意味と文型について次のように記述している。

気になる (一)

意味 ある人、事がらや現象などについて、心が奪われる。またはその動きを心配に思う様子。

文型 ダレダレはダレナニが——。(p. 69)

上の記述から、宮地(編)(1982)は本稿と同様に、「気になる」を複数の意味をもつ多義語と考えていることが確認できる。一方で、「気になる」の意味を「心が奪われる」「心配に思う様子」と記述しているが、これらの記述に当てはまらない例も見られる。次の(4)を見てみよう。

- (4) 2年位前から知り合いではあったのですが、男として見たことは全く無く過ごしていました。相手もそうです。最近気になってきて、本気になる前に何とかこの気持ちを止めたいのですが、何かよい方法ありませんか。 (0C09_05298 Yahoo!知恵袋)

(4)はある人のことが「最近気になってきて」とあり、その後に「本気になる前に何とかこの気持ちを止めたい」と述べられている。このことから、ここでの「気になる」は「心が奪われる」ほどの強い気持ちではなく、ある人に対して友達以上の好意を抱いているが、本気で好きになるほどの強い気持ちではないことを「気になる」と表している。よって、「気になる」は必ずしも「心が奪われる」ほどの強い気持ちを表すのではないとすることができる。

3.1.3. 『講談社類語辞典』の記述について

最後に、『講談社類語辞典』の記述を見ると、次のように記述している。

気になる

どうなるか、どうであるかなど、あることが心から離れず、しきりにそのことを思ってしまう。「試合の結果が～」「熱っぽいのに学校へ行った子供が～」「肩の調子が～」

(p. 217)

『講談社類語辞典』は、「気になる」は「しきりにそのことを思ってしまう」という意味であると記述している。しかし、次の(5)のように、ある音を聞き、不快と感じることを「気になる」と表しているものも見られる。

- (5) 室内ではどのような音が気になるでしょう。騒音計で測定してみましょう。人や時間帯によって「気になる音」にはちがひがあります。どのような工夫をすれば快適になるか、話し合ってみましょう。

(0T52_00009 石田晴久、加藤幸一、渋谷祥子ほか『新しい技術・家庭 家庭分野』)

(5)は音に対して「気になる」とあり、その後に「どのような工夫をすれば快適になるか、話し合ってみましょう」と続いている。このことから、(5)の「気になる」は、ある音を聞いて感じた不快感を表していると考えられる。「気になる」にはこのような意味もあることを記述する必要がある。

以上の先行研究の記述とその検討を基に、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』を用いて「気になる」の意味を分析する。

3.2. 「気になる」の意味分析

本稿は「気になる」を多義語と考え、三つの多義的別義を認める。また、分析の最後に別義間の関連性について考察する。

3.2.1. 別義1：〈ある刺激が普通と異なるため〉〈不快に感じる〉

次の5つの例は、ある刺激を感覚器官（嗅覚、視覚、味覚、聴覚、皮膚感覚）で感知し、そのことによって生じた気持ちを「気になる」と表している。

- (6) 白髪は隠したいけど、白髪染めのツンとしたにおいが気になって…という人は多いのでは。とくに四、五十代のお父さんは、家族のいる時間帯に白髪染めをすることが多いだけに、においが気になります、いやなおいのない白髪染めがあるのをご存じですか。
(PN1d_00027 産経新聞)
- (7) 彼は、こちらの要望通りに、セミヨンとソーヴィニヨン・ブランのそれぞれ千九百七十三年と七十二年のサンプルを啣酒台に並べた。それらがグラスに注がれたところで、ちょっと色が気になるな、と思った。私はおもむろにグラスをまわし、香りが立つまで、四つとももとの位置に静置した。 (PB15_00192 麻井宇介『ワインづくりの思想』)
- (8) 色んな野菜とシーフードミックス、または豚肉なんかとかき揚げにしたら苦味が気にならないしめっちゃ美味しいよ！！ (OC14_03962 Yahoo!知恵袋)
- (9) 室内ではどのような音が気になるでしょう。騒音計で測定してみましょ。人や時間帯によって「気になる音」にはちがいががあります。どのような工夫をすれば快適になるか、話し合ってみましょ。 (= (5))
- (10) 背中、腰、ひじ、首、手首の骨が、頻繁にずれます。夜眠れないときなどは、その痛みが気になってどうしようもありません。学生なので、長い間机に座っていなければならぬのですが、それさえも苦痛です。 (OC09_03163 Yahoo!知恵袋)

(6)から(10)は、ある刺激（におい、色、味、音、痛み）が通常のものとは異なると感覚器官が感知したことによって、「気になる」という気持ちが生じている。ここでの「気になる」は好ましい気持ちではなく、(6)に「においが気になります、いやなおいのない白髪染めがある」とあり、(9)に「気になる音」に対して「どのような工夫をすれば快適になるか」を話し合うと記述されていることから、ある刺激が普通と異なるため、不快に感じるという意味である。

以上から、「気になる」の別義1は、〈ある刺激が普通と異なるため〉〈不快に感じる〉とすることができる。

3.2.2. 別義2：〈良くないことが起こりそうで〉〈そのことから気持ちが離れない〉

続いて、次の四つの例を見てみよう。

- (11) 朝日を撮り終えて平田湾に来ると朝日は雲の中で観音様は静かに釜石湾を見えています。

遠くで雷が鳴っているのが気になります。 (OY03_00570 Yahoo!ブログ)

(12) 散歩の時に犬をつながないのはマナー違反だと思うのですが、それよりも気になることがあります。私の家の近所にも、犬をつながずに散歩している人が結構います。大通り沿いで、通行量の多い車道がすぐそこなのに、そういう方は事故の心配はされないんでしょうか？何かに驚いたり興味を引かれたりして、車道に飛び出したら・・・とは考えないものなのでしょうか？ (OC12_03484 Yahoo!知恵袋)

(13) 適度な歯ごたえと柔らかくてジューシーな脂身のバランスが良い豚肉でした。とてもさっぱりとしていて美味しかったですその上、野菜の旨味は水に流れないので、最後までシャキシャキの食感なのが嬉しいです。野菜の量が多いので、これだけ食べても腹八分目以下です！脂やコレステロールが気になる…でもお肉食べたいという方には最良のメニューでしょう。さて気になるお値段ですが…これでなんと…五百八十円！！！！…なんですよ！！！！安すぎる！ (OY14_32804 Yahoo!ブログ)

(14) 私はすごく人の目が気になるほうで、自分でも神経質だと分かっているんですが、自分が相手からどのように見られているのか、どうしても気になるんです

(OC09_05468 Yahoo!知恵袋)

まず(11)は、「遠くで雷が鳴っている」のを聞いて、話し手がいる場所でも雨が降るのではないかという思いを「気になる」と表している。続いて(12)は、犬をつながずに散歩している人が多く、そのような人は犬が事故にあうことを心配しないのかという思いを「気になる」と表している。次に(13)は、料理の「脂やコレステロール」が多いのではないかと、値段が高いのではないかということが「気になる」とある。さらに(14)は、「自分が相手からどのように見られているのか」ということが「気になる」と記されている。(11)から(14)の「気になる」は、話し手が良くないと思っていることが起こるのではないかと思い、そのことから気持ちが離れないという思いを表している。(14)に「どうしても気になる」とあるのは、「相手からどのように見られているのか」ということを意識しないようにしようと思っても、そのことから気持ちが離れず、自然とそのことに気持ちがいくという状態を表している。

以上から、「気になる」の別義2は〈良くないことが起こりそうで〉〈そのことから気持ちが離れない〉である。

3.2.3. 別義3：〈ある対象に関心をいだき〉〈そのことから気持ちが離れない〉

次の三つの例を見てみよう。

(15) 日立のCMだったかな この木何の木気になる木～♪っていうCMありますよね あの大きな木ってどこにあるんですか？子供の頃から気になってたんですが

(OC01_07167 Yahoo!知恵袋)

(16) 僕はそのあいだ、イアン・マッキルヴァニーというスコットランドの作家の小説『トニー・ヴェイツの書いたもの』をばらばらと読んでいたのだが、彼のことが気になって、ほとんど前に進めなかった。

(LBn9_00001 村上春樹『もし僕らのことばがウイスキーであったなら』)

(17) 女性に質問です。多少、大雑把な質問ですが、それを踏まえての回答をお願いします。

特に恋愛対象と見てなかった男性から好きだと言われたら、それがきっかけでその男性が気になるって事がありますか？ちなみに自分は気にもしてなかった女性でも、好意を示されたらやはり気になるし、こちらも好意を抱くようになります。 (= (3))

(15)から(17)を見ると、(15)は子供の頃からCMで見ていた木がどこにあるのか、(16)は彼のこと、(17)は恋愛対象と見ていなかった男性が「気になる」とある。(15)から(17)では、ある対象に関心をいだくことで「気になる」という気持ちが生じている。また、(15)はある対象が「子供の頃から気になってた」とあり、(16)は「彼のことが気になって、ほとんど前に進めなかった」とある。このことから、ここでの「気になる」は、ある対象に関心をいだき、そのことから気持ちが離れないという思いを表している。加えて、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』を見ると、「気になる」は(16)や(17)のように、「人のことが気になる」の形で最も多く使われていることが分かった。

以上から、「気になる」の別義3は〈ある対象に関心をいだき〉〈そのことから気持ちが離れない〉である。

3.2.4. 別義間の関連性について

「気になる」の3つの多義的別義の関連性について考察する。まず、別義1 (= 〈ある刺激が普通と異なるため〉〈不快に感じる〉)と別義2 (= 〈良くないことが起こりそうで〉〈そのことから気持ちが離れない〉)の関連性について考察する。別義1と2は〈ある対象を不快に感じる〉という共通の意味を有していると考えられる。また、別義1から別義2は、身体の直接的な経験から、より心理的な経験へと意味が拡張しているため、別義2は別義1からメタファーによって成り立っている。次に、別義2と別義3 (= 〈ある対象に関心をいだき〉〈そのことから気持ちが離れない〉)の関連性について考察する。別義2の〈良くないことが起こりそうで〉というのも「ある対象に関心をいだく」ことの一つであると考えられる。よって、別義3は別義2よりも意味が一般化していると考えられるため、別義3は別義2からシネクドキーによって成り立っていると考えられる。

4. 「気になる」と「心配になる」について

次に、意味が類似していると考えられる「気になる」と「心配になる」の類似点と相違点について考察する。

4.1. 類似点

次の2つの例を見てみよう。

(18) 散歩の時に犬をつながないのはマナー違反だと思うのですが、それよりも気になる(心配になる)ことがあります。私の家の近所にも、犬をつながずに散歩している人が結構います。大通り沿いで、通行量の多い車道がすぐそこなのに、そういう方は事故の心配はされないんでしょうか？何かに驚いたり興味を引かれたりして、車道に飛び出したら・・・とは考えないものなんでしょうか？ (= (12))

(19) 「ミスター・ホリエは、今、入院しています」と、ムーア教授は、いった。私は、警察

が関係しているのではないことに、ほっとしたが、同時に、なんの病気だろうと、それが、心配になってきた (気になってきた)。「どこの病院ですか？ どこが悪いんですか？」と、私はきいた。(OB3X_00151 西村京太郎『十津川警部の挑戦』)

(18)は、3節で別義2(=〈良くないことが起こりそうで〉〈そのことから気持ちが離れない〉)を表す例として挙げたように、犬をつながずに散歩している人が多く、そのような人は犬が事故にあうことを心配しないのかという思いを「気になる」と表している。(18)の「気になる」を「心配になる」に置き換えても、その表現を含む文の意味は大きく異ならない。続いて(19)を見ると、(19)は知り合いがどのような病気で入院しているのかについて「心配になってきた」と述べられている。この「心配になってきた」を「気になってきた」に置き換えても、その表現を含む文の意味は大きく異ならない。よって、「気になる」の別義2と「心配になる」の意味が類似していると考えられる。

4.2. 相違点

次に、「気になる」の別義2と「心配になる」の意味の相違点について考察する。次の三つの例を見てみよう。

(20) これまで行政とボランティアの関係は、お互いに相手方をさほど当てにせず、どう連携するかはあまり問題にはならなかったと言える。ボランティアの側から見ると、自分たちの行動は自発的なものであるから、行政に組み込まれたり、補助金をもらおうと下請け的仕事になってしまうのではないかと恐れる。行政側から見ると、組織の目的や体制がはっきりせず、いざというとき本当に頼りになるのかと心配になる (??気になる)。しかし、今回の大震災では自治体そのものも被災し、避難場所をはじめさまざまな場面で行政の行き届かない部分が出てきた。

(LBj3_00056 高秀秀信『大震災市長は何ができるのか』)

(21) ここ数年、私が気になっている (??心配になっている) のは不器用な子供が増えたことです。日常生活で手を使って何かをするという機会が極端に減っているように思います。

(OB6X_00167 陰山英男『学力は家庭で伸びる』)

(22) 娘が幼稚園でお友達にピアニカでたたかれたとって目の横に傷を作って帰って来ました。詳しい話を聞こうとしても、「わすれちゃったー」といって話してくれません。たたいた子をかばっているのか、自分にもやましいところがあるから言わないのか・・・どのようにたたかれたのか場所が場所なので心配ですし、もしかしてこれっていじめ？と心配になってしまう (?気になってしまう) のですが、担任の先生に話すべきですか？それともこれぐらいのことでがたがた言うべきではないのでしょうか？ (OC10_04600 Yahoo!知恵袋)

まず(20)は、行政にとって、非常時にボランティアが役に立つか否かは重要な問題であるため、ボランティアがいざというとき本当に頼りになるのかということが「心配になる」と述べている。このように、「心配になる」は発言時に話し手にとっての大きな問題に対して用いる。(20)の「心配になる」を「気になる」に置き換えると不自然な表現となるであろう。「気になる」

は「良くないことが起こりそうで、そのことから気持ちが離れない」という意味を表すのであり、「気になる」という気持ちが生じるのは深刻な問題に対してではない。続いて(21)を見ると、ここ数年、不器用な子供が増えたことについて「気になっている」と述べている。この「気になる」を「心配になる」に置き換えると不自然な意味となる。「気になる」は〈良くないことが起こりそうで〉〈そのことから気持ちが離れない〉という意味を表すため、数年間ある事態から気持ちが離れないという場合は「ここ数年、私が気になっている」と表現することができる。一方で「心配になる」は、発言時に話し手にとっての大きな問題であるということを表すため、「ここ数年、私が心配になっている」と表現すると不自然な表現となる。このように、「気になる」は良くないことが起こりそうで、話し手の気持ちから離れない物事に対して用いるが、「心配になる」は発言時に話し手にとっての大きな問題に対して用いるという違いがある。さらに(22)は、娘が幼稚園でいじめにあっていないかが「心配になる」ので、担任の先生に相談すべきか否かについてアドバイスを求めている。(22)の「心配になる」を「気になる」に置き換えると、質問者にとって深刻な問題であるということが読み手に伝わりにくくなる。よって、(22)では「心配になる」を用いたほうが適切である。

以上から、「気になる」の別義2と「心配になる」は意味が類似しているが、「気になる」の別義2は良くないことが起こりそうで、話し手の気持ちから離れない物事に対して用いるが、「心配になる」は発言時に話し手にとっての大きな問題に対して用いるという違いがあると言うことができる。

5. まとめと今後の課題

本稿では、「気になる」の意味を分析した。分析結果は以下の通りである。

- 「気になる」 別義1：〈ある刺激が普通と異なるため〉〈不快に感じる〉
別義2：〈良くないことが起こりそうで〉〈そのことから気持ちが離れない〉
別義3：〈ある対象に関心をいだき〉〈そのことから気持ちが離れない〉

また、別義間の関連性について、まず別義1から別義2は、身体の直接的な経験から、より心理的な経験へと意味が拡張しているため、別義2は別義1からメタファーによって成り立っている。次に、別義2と別義3については、別義3は別義2よりも意味が一般化していると考えられるため、別義3は別義2からシネクドキーによって成り立っている。

次に、「気になる」と意味が類似している「心配になる」との類似点と相違点について考察した。考察の結果、「気になる」の別義2と「心配になる」は意味が類似しているが、「気になる」の別義2は良くないことが起こりそうで、話し手の気持ちから離れない物事に対して用いるが、「心配になる」は発言時に話し手にとっての大きな問題に対して用いるという違いがあることが分かった。

今後の課題は、「気になる」の類義表現である「気にかかる」との意味の違いを明示することである。

『講談社類語辞典』は「気にかかる」の意味を次のように記述している。

気に掛かる

悪い結果になりはしないか、相手や他人がどうであるかなどと気になる。

「病人の容体が～」「国に残してきた家族のことが～」 (p. 191、下線は引用者)

『講談社類語辞典』は「気にかかる」の意味を「気になる」を用いて記述している。このことから、「気になる」と「気にかかる」が類義語であることが確認できるが、両者の意味がどのように違うのかを分析する必要がある。「気になる」と「気にかかる」の意味の違い、「気にかかる」の意味記述は今後の課題としたい。

注

- 1 以下では、例文中、直接の分析対象となっている箇所は下線で示し、それ以外の問題となる箇所は二重下線で示す。
- 2 宮地（編）（1982）は「気になる」の二つ目の意味を以下のように記述している。

気になる（二）

意味 ある受けた刺激を前提にして、その対応として主語にあたる人の主観的な情緒がその方向に向かって表れること。

文型 ダレダレは（が）ドンナ――。

ドンナにあたるのは、「気」を連体修飾する句・語・節であり、気持ちあるいは心情そのものを表すものである。 (p. 70)

本稿では、「そのような気になる」といったような、「気」の前に連体修飾表現が前接し、「気持ちあるいは心情そのものを表す」表現については考察の対象外とする。

用例出典

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)

(http://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/)

引用文献

柴田武・山田進・加藤安彦・靱山洋介（編）（2008）『講談社類語辞典』，講談社。

山田忠雄ほか（編）（2017）『新明解国語辞典（第七版）』，三省堂。

宮地裕（編）（1982）『慣用句の意味と用法』，明治書院。

靱山洋介（2009）『日本語表現で学ぶ入門からの認知言語学』，研究社。

靱山洋介（2010）『認知言語学入門』，研究社。

（朝日大学留学生別科講師）